国宝『医心方』をユネスコの「世界の記憶」に

みなさまがたもご存知のように，鍼博士・丹波康頼が撰集して，984 年に朝廷へ献上した国宝『医心方』30 巻は，海外の識者たちからも世界的文化財と評価されております．

しかし，難字による古漢字のため，千年来その全容を知る人はありませんでした．著名な辞書すら，いまだに誤った紹介をしております．全巻の初訳が完結したのは，2012 年 7 月だったからです．

『医心方』の引用書の一つで，中国最古の医学書『黄帝内経』と，17 世紀初めに朝鮮王朝の名医・許浚（ほじゅん）が撰集した『東医宝鑑』は，すでに「世界の記憶」に登録されているのに,『医心方』が未登録なのはそのためです．

『医心方』は，中国の有史以来，9 世紀までの医書・仙書・本草書・鍼灸のみならず，道教，儒教，仏教，陰陽道・天文・史書・文学・思想書，辞典等々，二百数十の文献を網羅して撰集した，世に類ない名著です．しかもその中には，東アジアのみならず，原始仏典の神々や婆羅門の秘法，菩薩たちの医書や養生書の漢訳もあります．そして出典の大半は，つとに失われたものです．

さらに薬剤は，アフリカ，ペルシャ，インド，スリランカ，オーストラリア付近の熱帯アジア産の動植物にも及びます．シルクロード以前に，心と身体の癒しの道が，伝道僧や求道僧によって開かれていたことも明らかになります．それらの処方の中には，現代を超えるものも少なくありません．

巻一の冒頭に，先哲たちの医の倫理を掲げ，論者名や書名を明示して，風土や環境による病理と治療法の基本を挙げ，あらゆる傷病の治療法，寄生虫，胎教，養生，日常生活の在り方，未病対策，さらに人間のすべての悩みや欲望の対処法までを対象とし，古代ならではの病名もあります．顕微鏡の発明によって病原菌の存在が知られるのは，17 世紀以降です．当時は陰陽師・安倍晴明が暗躍した時代ですから，荒唐無稽な呪法や治療法もありますが，それこそは文化人類学，考古学，史学，民俗学，古典文献などの分野に寄与する資料です．

また，動植物，鉱物学，そして精神医学にも新たな視座を提供する本書は，その人の持つ世界と学識によって，より一層の価値を高めて行くことでしょう．

医聖ヒポクラテスに並ぶ我が国の医師・丹波康頼が，撰集・編纂した世界に誇る我が国最古の医学全書『医心方』を「世界の記憶」に登録する為に，皆様の御賛同と御協力をお願い申し上げます．

国宝・医心方を「世界の記憶」に推進する会
会長　横倉義武（日本医師会会長）
事務局長　羽生田 俊（参議院議員，前日本医師会副会長）
東京都千代田区永田町 2-1-1　参議院会館 319 号室